

大関のこども

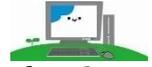


坂井市立大関小学校

学校だより第26号

令和3年11月10日

HPアドレス



<http://www.ozeki.ed.jp>



大関地区のごみについて考えた「ごみ探検」！



11月3日(水)、4~6年生の児童17名が「ごみ探検」に参加しました。この取組は、昨年度から始まりました。大関地区のどこにどのようなごみが捨てられているのかを調査し、その結果から気づくこと、私たちにできること、新聞記者になったつもりでみんなに伝えたいことについて地域の大人と話し合うことを通して、「きれいなまち大関」を創るねらいで行われました。まずは4つのコースに分かれ、約1時間ごみ拾いを行いました。道路沿いにたばこの吸い殻が多く落ちていること、プラスチックのごみが昨年よりかなり多いことが分かりました。話し合いでは、家族や近所の人だけでなく、まちの人にもごみを捨てないよう呼びかけたい、車の中にもごみ箱を設置してほしい、コロナ禍で持ち帰りが増えたためごみを捨てる人が多くなったのではないかなど、様々な意見が飛び交っていました。



今回の「ごみ探検」の取組を通して、参加した17名の子どもたちの「大関地区にごみを捨てないで！」という熱い思いを、今後、学校や家庭、そして地域へとつないでいきたいと思えます。



「ごみ探検」の取組を通して、参加した17名の子どもたちの「大関地区にごみを捨てないで！」という熱い思いを、今後、学校や家庭、そして地域へとつないでいきたいと思えます。

「ごみ探検」の取組を通して、参加した17名の子どもたちの「大関地区にごみを捨てないで！」という熱い思いを、今後、学校や家庭、そして地域へとつないでいきたいと思えます。

「ごみ探検」の取組を通して、参加した17名の子どもたちの「大関地区にごみを捨てないで！」という熱い思いを、今後、学校や家庭、そして地域へとつないでいきたいと思えます。

「ごみ探検」の取組を通して、参加した17名の子どもたちの「大関地区にごみを捨てないで！」という熱い思いを、今後、学校や家庭、そして地域へとつないでいきたいと思えます。

プラごみ問題 児童学ぶ

坂井・大関小 清掃団体が出前授業



出前授業でごみ問題について議論する児童ら（坂井市で）



大関地区きれいに児童がごみ削減策
坂井市大関地区の住民有志でつくる「大関クリーン隊」は3日、地域清掃としてごみの削減策を話し合う「ごみ探検」に取り組んだ。大関まちづくり協議会の事業の一環で、昨年から実施。大関小の児童17人をはじめ、区長や青少年育成委員など41人が参加した。

児童たちは、道路沿いにたばこの吸い殻が多いこと、プラスチックのごみが昨年よりかなり多いことが分かりました。話し合いでは、家族や近所の人だけでなく、まちの人にもごみを捨てないよう呼びかけたい、車の中にもごみ箱を設置してほしい、コロナ禍で持ち帰りが増えたためごみを捨てる人が多くなったのではないかなど、様々な意見が飛び交っていました。

児童たちは、道路沿いにたばこの吸い殻が多いこと、プラスチックのごみが昨年よりかなり多いことが分かりました。話し合いでは、家族や近所の人だけでなく、まちの人にもごみを捨てないよう呼びかけたい、車の中にもごみ箱を設置してほしい、コロナ禍で持ち帰りが増えたためごみを捨てる人が多くなったのではないかなど、様々な意見が飛び交っていました。

10月26日(火)の読売新聞に「ごみの出前授業」の様子が、11月7日(日)の福井新聞に「ごみ探検」の様子が記事として取り上げられ、大関っ子の輝く姿が掲載されました！

児童たちは、道路沿いにたばこの吸い殻が多いこと、プラスチックのごみが昨年よりかなり多いことが分かりました。話し合いでは、家族や近所の人だけでなく、まちの人にもごみを捨てないよう呼びかけたい、車の中にもごみ箱を設置してほしい、コロナ禍で持ち帰りが増えたためごみを捨てる人が多くなったのではないかなど、様々な意見が飛び交っていました。

児童たちは、道路沿いにたばこの吸い殻が多いこと、プラスチックのごみが昨年よりかなり多いことが分かりました。話し合いでは、家族や近所の人だけでなく、まちの人にもごみを捨てないよう呼びかけたい、車の中にもごみ箱を設置してほしい、コロナ禍で持ち帰りが増えたためごみを捨てる人が多くなったのではないかなど、様々な意見が飛び交っていました。

児童たちは、道路沿いにたばこの吸い殻が多いこと、プラスチックのごみが昨年よりかなり多いことが分かりました。話し合いでは、家族や近所の人だけでなく、まちの人にもごみを捨てないよう呼びかけたい、車の中にもごみ箱を設置してほしい、コロナ禍で持ち帰りが増えたためごみを捨てる人が多くなったのではないかなど、様々な意見が飛び交っていました。

児童たちは、道路沿いにたばこの吸い殻が多いこと、プラスチックのごみが昨年よりかなり多いことが分かりました。話し合いでは、家族や近所の人だけでなく、まちの人にもごみを捨てないよう呼びかけたい、車の中にもごみ箱を設置してほしい、コロナ禍で持ち帰りが増えたためごみを捨てる人が多くなったのではないかなど、様々な意見が飛び交っていました。